

中南米/中東/アジア理解講座を開講します

ジャパンファウンデーションでは、第一線で活躍する専門家の方々を講師にお招きし、海外の国や地域を多様な視点から取り上げた連続講座を実施し、毎回人気を博しています。2007年度第1期(2007年5月～7月)は、下記の4講座を開講いたします。

会場 : 国際交流基金国際会議場(東京都港区赤坂)
「先住民族文化の現在: ルーツ・変容・声」のみ日本教育会館(東京都千代田区一ツ橋)

定員 : 100名

開催時間 : 各講座とも19:00～20:30(いずれのコースも全10回)

受講料(税込) : 10,000円(JFサポーターズクラブ会員 8,000円、会員で学生の方 5,000円)

<p>【中南米】先住民族文化の現在： ルーツ・変容・声</p> <p>毎週金曜日(5月11日～7月13日) コーディネーター：鈴木 紀(千葉大学文学部准教授)</p>	<p>先スペイン時代に高度な文明が形成されたメソアメリカ(中米)地域とアンデス地域を中心に取り上げる。まずは<ルーツ>に着目し、現代の先端的研究によって、両地域の古代文明の「謎」を明らかにする。続いて現代の先住民族文化の<変容>に目を向け、彼らがおかれている社会経済的な状況等を考察する。更に近年の先住民族の政治的活性化と、彼らの発する<声>を手がかりに先住民族文化の今後を展望する。</p>
<p>【中東】文明の十字路・コーカサスの諸相</p> <p>毎週月曜日(5月21日～7月30日) コーディネーター：廣瀬 陽子(東京外国語大学大学院地域文化研究科准教授)</p>	<p>アゼルバイジャン、アルメニア、グルジアの3共和国とロシア連邦の一部からなるコーカサスは、キリスト教圏とイスラーム圏の結節点に位置し、豊かな文化を有している。同時に、カスピ海で石油や天然ガスが取れることから、地政学的重要性も高まっている。本講座では、様々なアプローチによりこの地域への理解を深めていく。</p>
<p>【中東】中東の新しい経済</p> <p>毎週木曜日(5月24日～7月26日) コーディネーター：武藤 幸治(立命館アジア太平洋大学アジア太平洋マネジメント学部教授)</p>	<p>中東において、人々が普通に暮らしていける社会を作り上げようとする各国の政策や人々の努力を、経済活動の諸側面にスポットを当てながら論じていく。また、グローバル化と中東の国家、国民、企業に関する問題を、幾つかの国を取り上げつつ検証する。</p>
<p>【アジア】ファッションがつくるインド</p> <p>毎週金曜日(5月18日～7月20日) コーディネーター：杉本 良男(国立民族学博物館先端人類学研究部教授)</p>	<p>インドの繊維産業は、17世紀以降の海上交易の拡大により、イギリスをはじめとするヨーロッパや、日本を含むアジアに「ファッション革命」をもたらした。そして今また、インドは世界のファッション界を席捲している。本講座では、「ファッション」を切り口に、近年経済発展がめざましいインドの生活文化の急速な変貌について、多面的に考察する。</p>

お問い合わせ先：国際交流基金 市民青少年交流課 異文化理解講座担当

Tel. 03-5562-3532 / Fax. 03-5562-3505

http://www.jpf.go.jp/j/culture_j/topics/lec/

情報センター

「地球を、開けよう。」

〒107-6021 東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル 21 階

Tel:03-5562-3538 Fax:03-5562-3534